

## 主 題：計器を使って空を飛ぶ

自分(S・テックレンバーグ師)は神のみことばが語られることに無駄はないと確信しています。神の働きへと召される前、自分の希望はパイロットでした。地上を飛び立つときの興奮は特別なものです。しかし、操縦のライセンスを取るためにはハードな学びをしなければなりません。実際に操縦するとき、ひとつのことだけに集中してはいられない、内耳の特別な働きがあります。訓練を十分に受けていないパイロットは、濃い雲の中では280秒間しか生きられないのです。計器に集中できるように視野を狭くする訓練をします。計器は現実の状況を真実に示すものです。真実は私たちの外側にあります。客観的なものです。私たちの状況に関係なく、また、私たちが信じようと信じまいと、真実であることには変わりないのです。また、私たちの背景、私たちがもっているものに関係なく…。しかし、私たちの周りにはこの真実に攻撃をしかけてくる人たちがいます。私たちに計器が重要なポイントなのです。

人生の航路を進む私たちには、常に選択があります。私たちのうちには真理があるでしょうか？サタンはつねに私たちを欺きます。神が人を造られたとき、人をロボットにはしませんでした。選択する者として造られました。エバに対するサタンの攻撃は、「神はほんとうにそのように言われたのですか？」と、みことばからそれるようにとすることでした。アダムとエバには選択があったのです。私たちの日々の生活の中にも常に、このような選択があります。

ヘブル13:5「…わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」と神はいわれます。私たちがどのように考えているか、どのように感じているかは問題ではないのです。「神は今ここにいる」、これが真実なことです。イザヤ64:6には「私たちはみな、汚れた者のようになり、私たちの義はみな、不潔な着物のようです。」とあります。私たちが神に受け入れられるのは、キリストの血によってのみです。私たちがもし、霊的成熟の達成のために、また、神に受け入れられるために行なうすべての人間的な行ないは罪です。また反対に、私はすべてにおいて困難がある、いつも妨げがある、と思うことも。私たちが何をするかではないのです。神が何をしてくださったかです。Iペテロ4:12,13「…あなたがたを試みるためにあなたがたの間に燃えさかる火の訓練を、何か思いがけないことが起こったかのように驚き怪しむことなく、むしろ、キリストの苦しみにあずかれたのですから、喜んでいなさい。それは、キリストの栄光が現われるときにも、喜びおどる者となるためです。」

また次に、私たちは余りにも失敗を重ねるゆえに、神の王国から取り除かれるのではないかと心配します。ヨハネ6:37「父がわたしにお与えになる者はみな、わたしのところに来ます。そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。」と、イエスは私たちに約束されます。イエスはご自分の羊たちすべてを養ってくださるのです。

私たちに選択があります。神に従うか否かという選択です。私はほんとうに小さな者、何の役にも立たないと思っても、神はこのように言われます。ピリピ2:13「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。」と。私たちのうちには神の力があるのです。私たちが計器をもっているのです。

私たちが計器をもって空をとぶために、

⇒願うだけではだめです。訓練、働き、努力が必要です。私たちの選択の一つ一つが神に従っていることです。そのためには、みことばの蓄えが必要です。詩篇1篇にあるとおりです。

「幸いなことよ。悪者のはかりごとによらず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。その人は、水路のそばに植わった木のような。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。悪者は、それとは違い、まさしく、風が吹き飛ばすもみがらのようだ。それゆえ、悪者は、さばきの中に立ちおおせず、罪人は、正しい者のつどいに立たない。まことに、主は、正しい者の道を知っておられる。しかし、悪者の道は滅びうせる。」

自分自身の考えや感情によって歩まない人、いつも主の教えを喜びとするなら、実を結ぶのだと言います。みことばを学び、それを実際に用いることです。

神の民すべてが信仰によって歩む、それはみことばを力とすることです。神の栄光のために。

II テモテ 3 : 17 「それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」